

昭和 41 (1966) 年 7 月	認可開設
昭和 60 (1985) 年 4 月	増改築
定員 79 名	現員 83 名

1 はじめに（全体的状況）

（1）感染症について

新型コロナウイルスの感染は落ち着いているが、手足口病の感染者が多かった。ウイルスの型が違うことで 2 回以上罹患する子どもがいた。また、冬季に入り、感染性胃腸炎に罹患する園児が増えたが、大きな感染状況には至らず収束した。昨年度に引き続き、環境衛生を良好に保つための定期的な換気や、保育室・玩具等の消毒、園児・職員の健康状態のチェック等は丁寧に行った。

（2）保育園の入園状況について

0 歳児定員を 10 名から 9 名に変更し、定員 79 名とした。前年度から引き続き 5 歳児は 1 名減の 83 名でスタートした。

（3）職員体制について

令和 6 年度は、副園長・事務員の交代があったが、綿密な引継ぎを行い、順調に推移した。また、産休・育休取得者が 3 名、育児時短勤務者 1 名であり職員不足ではあるが、派遣保育士 2 名の採用及び常勤保育士 2 名の採用により問題なく推移している。今後、産休取得者が 3 名見込まれていることから、これに対応する保育士の採用を進めている。

労災 5 件

- ① 5 月 園庭保育中、園児と手をつなぎ遊んでいたが、強く引っ張られる状態になり、転倒。左手中指骨折。（4 歳担任保育士）
- ② 8 月 遊戯室のエアコン清掃後、棚から降りる時に転落。
右腕打撲・擦過傷。（主任保育士）
- ③ 8 月 給食室スチームコンベクションの上にあった天板を素手でさわって、左手親指・人差し指・中指のやけど（調理師）
- ④ 9 月 保育室の園児用椅子にぶつけ左足の親指骨折（すくすく担当保育士）
- ⑤ 9 月 保育室に敷いてあるカーペットのへりにつまずき転倒。左顔面打撲、左足親指じん帯損傷（0 歳担任保育士）

労災案件が続いたため、副園長による安全教育を実施し、注意を喚起した。

2 重点目標とその実施状況

（1）保育実施要領を基にした保育内容の充実⇒○

- ア カリキュラム打ち合わせ会議を有効に利用し、熟慮しながら取り組むことで、発達に配慮した段階的な保育に取り組むことができた。
- イ 近隣の都立農業高校には夏のボランティアや農作物の栽培、東京農工大学の先生に面白い昆虫の話等をして頂くことが出来、情操教育を高める活動に取り組めた。
- ウ 食育指導は、5 歳児を中心に園庭や養護の畑で作物栽培を行い、収穫、食べるという体験をすることができている。（イチゴ・トマト・ナス・きゅうり・ピーマン・トウモロコシ・じゃがいも・ニンニク・小松菜・大根・サツ

マイモ)

3月には、幼児を対象として、魚（鯖）のさばき方とその調理を実演し、命のあるものをいただく意味と感謝の気持ちを教えることができた。

また、調理保育を実施し、食材に興味を持ち、自分で調理して食べる喜びを感じさせることができた（5歳児ナスのチーズ炒め、カレー作り）。

エ 親子で本に親しむ習慣を身に付けるために晴見文庫を実施し、絵本の貸し出しを楽しみにする親子が多くなった。

オ 情操を育むための園外保育に取り組んでいるが、暑くなる時期、が年々早まっていて園外や戸外での活動が制限されている。

カ コロナウイルスの発生状況を確認しながら、できるだけ人とのふれあいの場を持つようにした。養護老人ホームには七夕訪問を実施することができた。デイケアセンターには、2歳児と4歳児が訪問し交流する機会を持つことができた。

キ 白梅学園元教授・公認心理師の市川奈緒子先生に来園指導をお願いし（年3回）、保育実施上、配慮を必要とする子どもへの理解を深め、実践的な保育の方法について学ぶことができた。

（2）地域子育て家庭支援の充実と定着⇒○

ア 地域子育て家庭に向けた出前保育や保育所体験を行い、積極的に子育て支援に取り組むことができた。

イ 育児講座を実施、地域子育て家庭へ育児方法等の指導を行い、好評を頂いている。また、経験の浅い保育士の保育の勉強にも役立っている。

（3）感染症の感染予防について⇒△

ア 感染予防の為、室内外及び玩具の消毒については、消毒回数、消毒方法を定め丁寧に取り組むようにした。しかしながら、手足口病の感染力が強く園児83名中内62名が罹患した。

ウイルスの違いからか短期間に2回以上罹患する園児もいた。

イ 吐物処理等の研修の積み重ねにより、嘔吐発生時の職員の動きが良くなっている。引き続き実践研修を重ね、感染防止対応に努めたい。

（4）防災と安全対策⇒○

ア 救急救命（2月7日）、エピペン使用方法の研修（11月26日）を実施した。

イ 様々な場面を想定した避難訓練を毎月実施している。法人全体の総合防災訓練（10月16日）にも参加した。

ウ 保育環境の安全点検・環境整備を定期的に行う事で、設備の不具合の発見等、早期対応（修繕）や事故防止につながっている。

エ 6月24日「さすまた」を使用した不審者対応訓練を行った。

（5）人材育成のための職員協力体制及び指導体制の強化⇒△

ア キャリアアップやスキルアップに必要な研修に積極的に取り組んでいる。

イ 育児休業・育児時短勤務の職員が複数いる中、派遣保育士及び常勤保育士を採用し、サポート体制を整え、働きやすい職場環境作りに努めているが、職員の負担は大きい。

（6）第三者評価受審⇒○

評価結果報告書が送付されたため、今後、公表手続を実施する。

3 その他

老朽化及び安全対策のために実施した工事等は以下のとおり。

- ① 1歳児クラスのエアコン交換工事完了（約140万）
- ② 保育園LED化工事完了（約360万）補助金利用
- ③ 園庭総合遊具周辺転倒マット設置工事完了（約344万）補助金利用
- ④ 屋上防水工事完了（約400万）
- ⑤ 調理室ガスコンロ交換工事完了（約36万）
- ⑥ オーニング（日除け）工事完了（約490万）